



# 緑中だより

令和6年度第11号 令和7年1月24日発行

小金井市立緑中学校

小金井市緑町2-11-47 ☎042-383-1164

ホームページ

<https://midori-js.koganei.ed.jp/>



## 本校の教育目標

- すすんで学び、高い知性を身につけよう
- ◎社会の一員として、思いやりのある人になろう
- 希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう
- からだをきたえ、健康な人になろう

## 2025年(令和7年)を迎えて

校長 塩原 真一

新年おめでとうございます。本年も緑中学校に対するご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。生徒及びご家族のご健康とご多幸を祈念いたします。

令和6年度も3ヵ月を切りました。第3学年は進路開拓の本番を迎えます。12月より面接練習を継続しておりますが、おそらくは教員や保護者の皆様の想像よりも生徒はしっかりとした受け答えができております。ここからは感染症対策など健康維持に努め元気に本番を迎えられるように調整するようにお話しております。何か気になることがございましたら、遠慮なく学校にご相談ください。

1、2年生はそれぞれ校外学習、職場体験という学年行事が控えております。1月29日から3日間の職場体験はどの学校の2年生にとっても貴重な体験です。様々な要因で体験不足の子供たちにとって「働く」とは何かを身をもって経験できる場であります。保護者の皆様からもご指導いただけると幸いです。

1年生の校外学習は1月31日に行います。私も1年生の引率に加わりませんが、都内を班行動でまわる経験は初めてだと思います。安全に東小金井駅まで戻るように指導してまいります。

さて、学校関係者評価、学校運営協議会から様々なご意見をいただいている時期です。「個性と多様性の尊重」それに伴った学校改革を進めていかなければなりません。特に1日の大半を占める授業のさらなる改革や工夫は喫緊の課題であります。理解しやすい授業、丁寧な板書、ノート指導は効果もありますが、「自ら考える力」、自分で聞き取ってメモをする自発的な姿勢の育成という部分では中学生としては物足りません。一方基礎学力が十分に身につけていない生徒にとっては上記の対応はより効果的かもしれません。結局は「個別最適な学び」をどう展開していくかが課題となります。バランスを考慮しながら、その学級、そのグループ、その生徒に対応できる授業構築をできるように、本校教職員に指導してまいります。



1年技術・木材加工  
身近な問題を解決する製品の  
製作の個別作業



情報化社会に生きる子どもたちがネットユーザーとしてモラルを学ぶことは重要です。現状を認識してもらい、個人情報や人権をきちんと学んでもらうことも重要です。扱うからには責任も伴うことを学校としても再度指導させていただきます。



学童保育の様子

小金井市及び小金井市教育委員会の要請を受け、昨年11月から本校の旧会議室に学童保育所が移設されました。対象児童は36名です。学童保育所がある都内中学校はないのではと思います。小さな上履き、楽しそうな声や歌声は新鮮です。思春期で苦悩している中学生に是非見てもらいたい光景です。学校=school はギリシャ語が語源で、本来「自由で満ち足りた時間」という意味があるようです。楽しそうな学童保育所の児童の様子はまさに自由で満ち足りた時間かもしれません。緑中学校生にとって緑中が大いに悩む場でもあり、満ち足りた場になるように努力してまいります。

# 道徳授業公開講座にご来校ありがとうございました

1月11日（土）に道徳授業地区公開講座を実施いたしました。「多様な性」を題材に、セクシュアリティの違いについて1時間目に全学級で道徳の公開授業を行い、2・3時間目は講演会として、講師の先生のお話をいただきました。

1時間目の各クラスの授業では、多様な性に関する認識や理解が進むようイラストや動画を活用して、視覚的に多様な性のあり方について触れました。



講演会では、NPO法人 ReBit 様に講師をお招きしました。

「多様な性ってなんだろう？～互いの違いを受け止め合える社会を目指して」というテーマのもと、世界には外見も内面も違う色々な人が存在し、見た目も似ていても内面は人それぞれ事情や背景がちがうこと、「多様な性」とはそういった各々の「ちがひ」であることを講師の先生の実体験を交えお話いただきました。

講演の最後には、年齢や得意不得意や体格等を含め、人にはいろいろなちがひがあるようにセクシュアリティも人の数だけ存在すること、セクシュアリティにとどまらず自分のもっている「ちがひ」を大切にするとともに、相手のことも大切にできる人や社会であってほしいというお言葉をいただきました。

集団生活において多種多様な個性がある中で、見た目のちがひや考え方のちがひなど大勢の中で自分を比較し不安を覚えることもあると思います。

多様な性を含め、それぞれの「ちがひ」を受け止め合うにはどうしたらいいのか考える機会となりました。

## ■ 生徒の感想（無記名アンケートより）

- ・左利きの人と同じくらいセクシャルマイノリティの人がいると聞いて、身近な話なのだなと思った。内面は目で見てわかる訳でもないし、友だちでも全てを分かっているわけではないので、性の話をするときは考えてから言葉にしようと思う。
- ・「全員が違って当たり前」という新しい考えに気づくことができ、大切な講演会だと思いました。
- ・自分が人の個性を認めるだけでも、誰かの支えになれるのだと思いました。
- ・男女平等という言葉は聞いたことがあったが、今回LGBTQやSOGIという言葉は初めて聞いた。大人になるにつれて性差がはっきりしてくるので、1人1人の個性を大切にしたい。

## ■ 保護者の方から

- ・新しい価値観へのアップデートが重要と感じました。センシティブな内容ですが、生徒同士で正しく議論できる土台となればよいと思いました。
- ・性という言葉が「個性」という言葉の中に含まれているように、性は多様で豊かであるという認識を深めていく良い機会となりました。性の多様性について学びを深めていける機会を大人も子どもも持つことで、あらゆる差別や偏見が少ない、豊かな個性が表現される未来になっていくと良いなと感じました。
- ・講演会を真剣に聴いている生徒達の後姿が印象的でした。講演会にあった「おにぎり」の様に多種多様な具をもったみんなが、自分を大切に自然に表現できる世の中になっていく、していく事を願います。

# 第2回学校評価アンケートの結果



12月に実施した学校評価アンケートの結果を公表いたしました。ご回答いただきました保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

ここでは、自己評価概要と設問の中から抜粋して、分析結果を3つご紹介します。詳細は本校ホームページに掲載している他、右上の二次元コードからご覧いただけます。

## ■ 各設問の回答状況と分析 (抜粋)

### ■ 自己評価概要

#### 成果

- 90%以上の生徒が、楽しく充実した学校生活を送ることができており、学校生活の中で、学校行事などを通じて、同じ目的をもつ仲間と協力して活動することができている。
- 90%以上の保護者が、給食だより等を通じて地場食材や食文化、食中毒予防等について知ることができている。

#### 課題

- ▲ 全体的に保護者の「分からない／回答が困難」の回答が増加していることから、各種取組を積極的に発信し、保護者に学校の様子を分かりやすく伝えていく必要がある。
- ▲ ICTを活用した授業変革の推進とともに、その様子を保護者や地域に発信していく必要がある。
- ▲ 進路情報の提供について、特に1・2年保護者への情報提供を行っていく必要がある。

### 設問 6 授業変革

生徒	教職員は、ICTや図書を効果的に活用するなどして、分かりやすい授業に取り組んでいる。
保護者	教職員は、ICTや図書を効果的に活用するなどして、分かりやすい授業に取り組んでいる。
教職員	教職員は、ICTや図書を効果的に活用するなどして授業変革に取り組んでいる。

  

生徒	44	38	12	4	2
保護者	19	41	37	0	30
教職員	26	55	18	0	0

0% 20% 40% 60% 80% 100% (単位:%)

■ とてもあてはまる ■ どちらかといえばあてはまる ■ 分からない／回答が困難 ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない

「分からない／回答が困難」が増加し、特に保護者においては37%が「分からない／回答が困難」と回答している。ICTの活用については本校ホームページにおいて効果的な活用事例を紹介しているが、その周知が十分なされていないことが考えられる。

### 設問 8 温かな学級・集団づくり

生徒	私は、学校で安心して過ごすことができている。
保護者	お子さんは、安心して学校生活を送ることができている。
教職員	教職員は、気になる生徒に声をかけるなど、生徒が安心できる温かな学級・集団づくりに努めている。

  

生徒	56	32	7	3	1
保護者	41	43	9	7	1
教職員	47	47	3	30	0

0% 20% 40% 60% 80% 100% (単位:%)

■ とてもあてはまる ■ どちらかといえばあてはまる ■ 分からない／回答が困難 ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない

「分からない／回答が困難」がやや増加したものの、回答の傾向に大きな変化は見られない。引き続き毎月のいじめに関するアンケート等を活用し、生徒が安心して過ごすことのできる学級・集団作りに取り組んでいく。

### 設問 14 進路指導

生徒	自分の進路を考えるのに必要な情報を得ることができている。
保護者	お子さんの進路を考えるにあたって必要な進路情報が提供されている。
教職員	生徒や保護者が進路について考えるのに必要な情報を提供できている。

  

生徒	40	36	14	8	2
保護者	13	40	35	9	2
教職員	42	47	8	30	0

0% 20% 40% 60% 80% 100% (単位:%)

■ とてもあてはまる ■ どちらかといえばあてはまる ■ 分からない／回答が困難 ■ あまりあてはまらない ■ まったくあてはまらない

保護者の学年別では3年では「とても～」の割合が28.0%である一方、1年は「分からない」が45.8%だった。第2回進路説明会には1・2年保護者にも参加いただくなど、進路情報の提供に努めたが、さらなる情報発信に取り組む必要がある。

## 緑中生の活躍

### ■ クリスマスコンサート(合唱部・弦楽部)

2学期終業式の日の午後、合唱部と弦楽部の合同でコンサートを行いました。今回は学童保育所を利用して小学生にもコンサートを聴いてもらうことができました。



### ■ ラグビー

#### 全国ジュニア・ラグビーフットボール大会

#### 第3ブロック(女子の部)

#### 第2位 東京都代表チーム

※2年E組〇〇 〇〇さんが東京都代表チームで出場しました。



### ■ 新春市民のつどい

1月9日(木)、5年ぶりに集合の形で「小金井市 新春市民のつどい」が行われ、本校3年E組 〇〇 〇〇さんの陸上競技での活躍が小金井市民に明るい話題を提供してくれたとして、市から感謝状が贈呈されました。



## 学校からのお知らせ

### ■ 育休代替教員着任のお知らせ

令和6年12月26日付で、第2学年教員の育児休業取得に伴う代替教員が着任しました。よろしくお願いいたします。

### ■ 「まなびポケット保護者連絡機能」の導入について

令和7年4月から、小金井市立小・中学校で「まなびポケット保護者連絡機能」の活用が始まります。この機能の導入により、大切なお知らせや配布物を即時的にアプリで受け取ることや、学校行事等への参加確認などが、高いセキュリティ環境の中で行えます。ま

た、ペーパーレスを推進し、環境負荷の軽減なども期待できます。

1・2年生の保護者の方には、2学期末に、お子様を通じてお知らせと保護者ID・パスワードの通知書をお渡ししております。2月からテスト配信、3月には欠席連絡機能のテスト運用を行います。1月中旬にアプリのインストールとログインをお願いいたします。

なお、令和7年度から正式運用開始となることから、現在の小学6年生(4月に小金井市立中学校に入学予定)の保護者の方には、4月になってから中学校からご案内いたします。また、現在の中学3年生の保護者の方にはご案内がありません。ご了承ください。

### ■ 2月の主な行事

1	土
2	日
3	月 全校朝礼 安全指導
4	火
5	水 小金井教育の日
6	木
7	金 緑中説明会(6年生対象)
8	土
9	日
10	月 都内私立高校一般入試
11	火 建国記念の日
12	水 校内研修会 部活動再登校
13	木 各種委員会
14	金 評議員会
15	土
16	日
17	月 生徒会朝礼 避難訓練
18	火
19	水 職員会議 部活動再登校
20	木
21	金 都立高校(1次・前期)入試
22	土
23	日 天皇誕生日
24	月 振替休日
25	火 第5回定期考査 学校運営協議会
26	水 第5回定期考査
27	木 第5回定期考査
28	金 スピーキングテスト(1・2年)